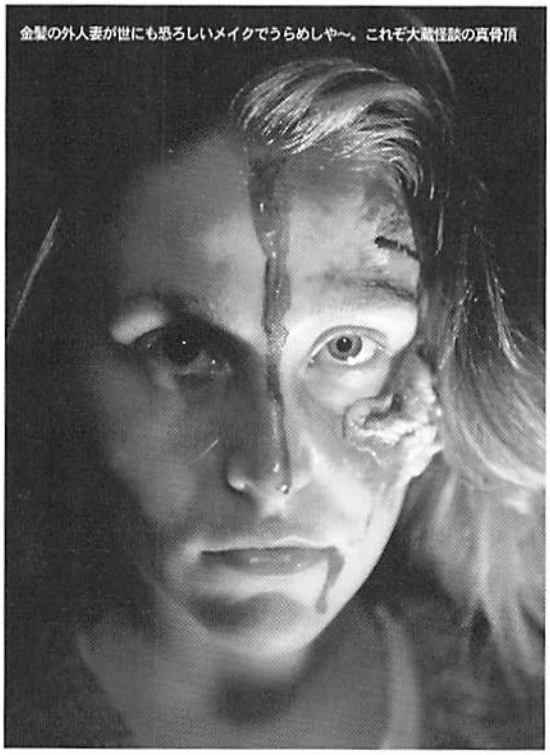
協力／朝日放送・キングレコード・フジテレビ

Kyoto Hollywood News
京都ハリウッド通信

幻の怪談映画復活！
三輪ひとみ主演
京極夏彦・原口智生も参加
「怪談異人幽霊」

「怪談異人幽霊」という映画をご存じか？　なんじゃそりゃという読者も多いと思うが、マニアには「あの」が付くカルトな作品なのだ。なんせフィルムが現存しない、文字通り「幻」の作品なのである。怪談映画を量産し、日本映画史に輝く中川信夫監督の名作「東海道四谷怪談」や「地獄」を放った怪談映画のブランドである新東宝・大蔵映画の社長・大蔵貢氏がプロデュースした一連の怪談映画で、一際異彩を放つのがこの「異人幽霊」。なんせ保険金目当てに殺害された金髪の外人妻がお岩さんの様な凄まじいメイクで化けて出るという、日本独特の怪談に外人の幽霊がミスマッチした異色作なのである。ところがこの作品、先に記した通りフィルムが廃棄処分されて、現在は見る事が出来ない。それではと現存するシナリオを基に小生が再映像化を企画。低予算にもかかわらず、企画の趣旨に賛同いただき、主演には「発狂する唇」や「血を吸う宇宙」でおなじみのホラー・クイーン三輪ひとみ嬢、特殊メイク・造形に「陰陽師」などの原口智生氏、編集・ナレーションに京極夏彦氏が参加という豪華な面々が揃った。その他の出演者は以前にも当欄で紹介した、東映京都撮影所の若手スタッフが自主製作した35ミリ・シネスコ作品「ストップモーション」に主演した都木淳平。脚本・監督は小生が担当。撮影は京都でロケし、4月に終了。現在は今夏の公開を目指して鋭意作業中。


金髪の外人妻が世にも恐ろしいメイクでうらめしや～。これぞ大蔵怪談の真骨頂

主演は「発狂する唇」などで絶大な人気のホラー・クイーン三輪ひとみ嬢。共演は当欄には「ストップモーション」でおなじみの都木淳平

こたびは三上博史が演じる
「陰陽師・安倍晴明」撮影快調！

稲垣吾郎晴明、野村萬斎晴明に続いては、三上博史が演じる事となった安倍晴明。決定版となるのは誰か？

映画「陰陽師」の大ヒットで頂点に達したかに見える安倍晴明ブーム。その最中、フジテレビが岩崎陽子原作の人気コミック「主都妖奇譚」（プリンセス・コミック／秋田書店）をドラマ化。松竹京都映画で4月より撮影が開始されている。主演の安倍晴明に三上博史、藤原将々に保坂尚輝、橋影連に陣内孝則といった豪華キャストで、特殊メイクは原口智生が担当、CGを駆使した豪華権欄な平安絵巻の妖異譚を見事に映像化している。

放送は6月末か7月上旬より、フジテレビの火曜時代劇枠となる予定。そのため放送に間に合わせるべく現場は徹夜の連続で、撮影終了が午前3時という日も珍しくないハードスケジュール。とにかく撮影した後もCGや合成処理があるので文字通り時間との戦い。だが写真を見ての通り三上晴明はなかなかの凛々しさ。晴明ファンには待ち遠しい番組だ。

風水で殺人事件も解決！
「京都の女庭師・風水ガーデニング探偵さくら子2」

沢口靖子の風水ガーデニング探偵シリーズ第2弾。京都でも指折りの資産家・山村宗一郎の屋敷で殺人事件が発生。被害者は宗一郎の腹違いの息子で料亭を経営する次男の義之。山村家に出入りしている庭師の松原さくら子（沢口靖子）は、自身が主催する風水ガーデニング塾の講師・ドクター・コバに山村家の家相を診断させる。診断の結果は異常なし。だが宗一郎の長女・信子が依頼した陰陽師の見立てでは、庭の築山と祠が災いの原因として早急に撤去する必要があるという。しかし、山村家の庭はさくら子の父・徳右衛門（近藤正臣）が風水に十分照らして作り上げたものであり、宗一郎も満足している。ところが信子が築山を壊す期限とした翌日、庭の池から宗一郎の遺体が発見される…。撮影は京都にとどまらず青森県五所川原にロケーション。監督は必殺シリーズの名カメラマンでもある石原興。

土曜ワイド劇場「京都の女庭師・風水ガーデニング探偵さくら子2」6月15日土曜夜9時より放送

大好評・必殺シリーズDVD第2弾
「必殺必中仕事屋稼業」

かつて「傷だらけの天使」と表裏の同時間枠で激突し、人気を二分した名作ドラマ「必殺必中仕事屋稼業」がついに全話DVD化決定！　博奕好きのそば屋の亭主・半兵衛（緒形拳）と待くずれの遊び人・政吉（林隆三）は、ひょんな事から仕事屋にスカウトされる。「仕事屋！。それはお上が聞き入れないか弱き者たちの依頼を受け、いかなる手立てを用いてもこれを果たすという闇の稼業。元締めは飛脚問屋の女主人・おせい（草笛光子）。半兵衛と政吉は大のギャンブル好きで、二人がのめり込むギャンブルの数々を巧みに織り込みながら、腕っ節の弱さを持ち前の度胸でカバーして強敵に挑む姿がスリリングに描かれる。本作は必殺シリーズの第5作で、シリーズ30作中でも屈指の出来と人気を誇る名作。6月よりBOX（17000円・税抜き）と単品（1、2は3980円、3～7は4980円・税抜き）がキングレコードより順次リリースされる。

© 松竹・ABC
傷だらけの天使と人気を二分した70年代の傑作ドラマ「必殺必中仕事屋稼業」DVDは6月5日よりキングレコードより発売

トピックス

松竹京都映画演出部の井口誠一監督デビュー作「女狼～淫殺裸身剣舞～」が撮影終了、7月に発売となる予定。女鷹金稼ぎ・おりょう、あるのは己の剣術と度胸のみ。雲のようにきまに生き、疾風のごとく悪を斬る。「くノ一忍法伝」のスタッフが贈るラブ・サイケデリック・ブレイド・ムービー。主演の山原真依は厳正なオーディションで選ばれた美少女で、本作品を制作するENGEL専属の女優としてこれからの活躍が期待される。

今月の言葉

「怪談異人幽霊」に続いて計4作の怪談を休みなく監督、魂の抜け殻状態の日々。本当に映画とは集団芸術であると痛感。一人一人のスタッフや俳優さんの力があってこそ成り立つものだと感謝。京極氏の編集により、どのように仕上がるのか楽しみ。

2002年6月1日　山田誠二

責任編集人　山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。